

大口式インプラント法とは？

Ohguchi Augmentation Method Implant System

従来のドリルを使って骨を削り、人工歯根（インプラント）を入れる手術は骨の幅が狭いと骨移植や、骨造成が必要な場合もあります。この場合にはお口以外の部分に痛みが発生して、入院が必要な場合もあります。

大口式インプラント法では、骨表面に小さな穴を開け、専用器具を用いて穴を少しずつ広げ人工歯根を入れることができます。骨を削る作業が少ないため、歯科特有の不快な音や振動も少なく、快適に治療が受けられます。

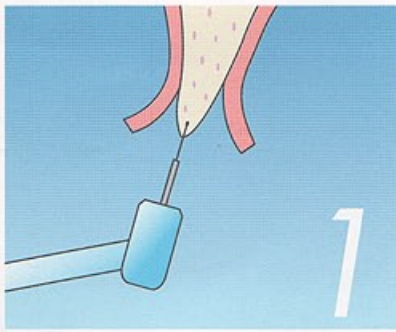
骨の削除が
少ない！

出血が
少ない！

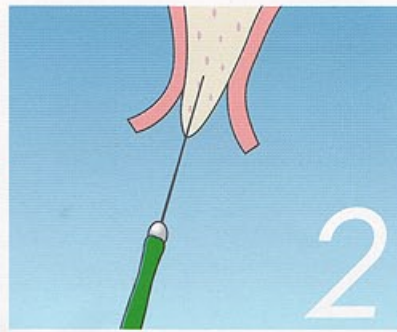
痛みが
少ない！

術後の腫れが
少ない！

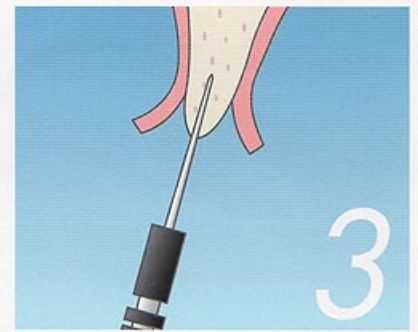
◆大口式インプラント法手順



1
小さなバー（直径0.5ミリ程度）でインプラントの位置決めをします。麻酔をしているので痛くなく、小さなバーを使用して1秒程度の作業です。



2
次に細いリーマー（針灸治療の針のようなもの）で専用器具の通り道をつくります。手動ですから音も殆どありません。



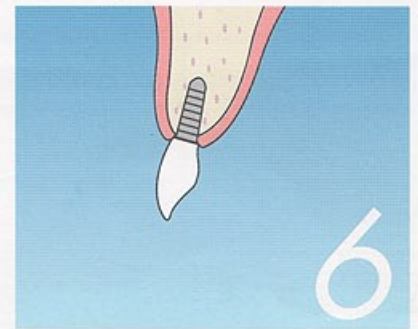
3
次から専用器具（※オーギュメーター）を使用して穴を広げます。細い骨でも少しずつ広げて太くします。



4
太さを代えてだんだん穴を大きくします。



5
必要な穴の大きさになるまで器具を取り替えながら徐々に広げていきます。手作業で丁寧な作業を行います。



6
骨とインプラント体が結合したら歯が入ります。

詳しくは大口弘著「大革命!手術を治療に変えた、大口式インプラント」(みずほ出版社)「もう入れ歯じゃないよ。」(中日新聞社)をご覧ください。
書店に無い場合には 株式会社メディカルエイベックス (TEL.058-266-0123) までお問合せください。

※オーギュメーターは、(株)メディカルエイベックスの取扱い商品名です。

◎ 大口式インプラント法で、歯の健康を取り戻し、うるおいのある生活を送りませんか。

